

茅広江の郷だより

令和2年6月発行 No.19

発行責任者 高橋 敏信

茅広江の郷だより発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

平素は、茅広江まちづくり協議会の運営に対し、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年は新年から、新型コロナウイルスの感染症が、中国から日本・欧州、世界へと拡がり、感染の影響は、多大な人命被害、人・モノの移動の遮断、外出規制等による経済活動抑制、また金融市場の不安定化等も発生しました。

感染が収束に向かい、緊急事態宣言が解除され、六月一日以降からは、県外を越えての移動が可能となり、経済活動が始まりました。

さて令和二年度、茅広江まちづくり協議会の年次総会を、四月二四日の開催で進めていましたが、新型コロナウイルスの感染症が拡散、感染防止の観点から総会は取り止め、「書面議決」に変更しました。結果、全ての議案は承認されたことをご報告いたします。

たします。



★書面議決書の開票と議案書

それぞれの活動を通じ地域の方々の交流を図りながら、茅広江のまちづくりを進めていきたいと思えます。

ただ今年、計画した行事は、新型コロナウイルス感染症の状況により、延期・中止することがあります。ご理解いただけますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、終息したわけではありません。各地・各国で感染がまだまだ続いています。感染防止の徹底（手洗い、咳エチケット・・・）、密閉、密集、密接（3密）に注意して下さい。皆様のご無事と安全を切に願っています。

地域の皆様の一人ひとりが住み慣れた所で、自然を生

かし、ふれあい、支え合い、安心して暮らせるまち実現に向け、一歩ずつ踏み出し進めていきたいと思えます。

今後とも、より一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和二年六月吉日

茅広江まちづくり協議会、

会長 高橋 敏信

役員・部会員の紹介

【本部役員】

会長 高橋敏信

副会長 竹上肇、若山学、吉川里司

事務局長 鎌倉茂

会計 鈴木伸幸

監事 上村博光

吉岡五十二

（事務員 竹林伊代子）

【健康福祉部会】

部会長 小塩正明

副部会長 川口順子

書記 小畑由美子

部会員 高橋敏信、吉川里

司、若山学、竹上肇、鈴木睦子、小塩美智子、吉川鴻一、若山春實、竹上

仁、明空あけみ、谷真知子、若山雅代、船谷近代、藪百々代、鎌倉千春、戸上明美、久保和香奈、竹上陽子、竹上昌美、家城民子、三村進、勝田泰弘、久保忠秀

【環境・安全防災部会】

部会長 野呂敏

副部会長 竹上俊也

書記 西村洋一

部会員 谷村敏紀、中村孝司、上島俊美、名古忠巳、広津輝男、長谷川修二

【地域振興部会】

部会長 谷法生

副部会長 大西敏久

書記 川口五男

部会員 吉岡五十二、小畑和美、辻和雄、堀木裕司、鎌倉雅樹、辻貴博

【教育文化部会】

部会長 片谷慎一

副部会長 竹上和真

書記 青木精一

部会員 藪弘子、長谷川道夫、勝田裕子、藪悦子、竹上仁、石神善治、家城民子、船谷幸正、田添辰

巳、谷村道弘、木田潤、地主千春、上村直哉、年間計画に沿って活動します。よろしくお願ひします。

健康福祉部会

今年度も部会活動は昨年と変わりありませんが茅広江まちづくり協議会の活動のかなりの部分を占めています。

今年度の部会活動を紹介させていただきます。



★丹生大師

五月二日には丹生大師へのウォーキングを行なう予定でしたが、新型コロナウイルスのこともあり中止とさせていただきます。一月二日にウォーキングを予定していますので、皆様の参加をお待ちしています。

五月三〇日には、要配慮者食事サービスをを行いました。八〇歳以上の高齢者宅へお

寿司をお届けしたのですが、皆様のお元気な様子に私たちもうれしくなりました。



★助六寿司を
用意

九月二〇日には、紅白まんじゅうをお届けする予定です。食事サービスは、一月七日、二月六日にも予定しております。

六月一三日には、六五歳以上の一人暮らしの方や寝たきりの方に花の慰問として寄せ植えの花をお届けし、話をさせていただきます。二月二日にも予定していません。



★花の慰問では「タ刊三重」の
取材を受けました

六月二七日には、茅広江グランドゴルフ大会を行います。グラウンドゴルフクラブの方々だけでなく、地域の皆さんにも参加していただ

き、交流を深めていただければと思います。

一〇月一七日に第二回を予定しています。また、九月には南地区の大会もあります。今年度から毎週火・木・土曜日、下茅原公民館で練習をしていますのでぜひ参加してみてください。

一〇月二三日には、在宅介護者のつどいを行います。介護するときは実技やそのコツなどを学習し介護の時に役立てていただければ幸いです。介護されている方はもちろん、これから介護をされる方も参加してみてください。

この他にも、一〇月四日には、茅広江地区市民体育祭、二月七日には茅広江ふれあいマラソン&ウォーキング大会を予定しています。茅広江地区の皆さんが集まって盛り上げていただけたら、いっそう三地区の交流も活発になるものと思います。参加をお待ちしています。ただ、今後の新型コロナウイルス

イルス対策の状況によっては行事を中止や延期することがありますのでご了承いただきますようお願いいたします。

環境・安全防災部会

今年度は新型コロナウイルス感染症防止のための対策を考えながらの活動になります。

安全防災関係の活動として毎年実施している、消防ポンプによる放水訓練は、今年度は実施しないことになりました。また、一二月の清掃奉仕活動の日、毎年恒例の炊き出し訓練についても、状況を見て、実施の可否や方法を判断することになると思います。

環境関係の活動としては、今年度も、ホタルの調査、ササユリの保護活動、花いっぱい運動などを計画しました。ササユリとホタルの調査は五月三一日(日)に部会のメンバーが集まり、調査方法

を協議しました。コロナ対策として、今年度は三地区のそれぞれで、独自に調査を行い、結果をまとめることにしました。

ササユリの状況は、下茅原神社周辺に今年もたくさんの花が咲き、とても良好な状況が維持されているようです。広瀬町のササユリ生育地の一つ大池では、春から種子の実る一二月頃まで草刈りは行わず、冬場に行っており、今年で四年目となります。ここでは、ササユリ十数本を確認、他の場所でも数本が見られました。上茅原では、いつもの場所に加え、ササユリが咲く新しい場所も確認できました。



★下茅原



★広瀬

★上茅原

ササユリを増やすには、花を採らず、種子が実るまで放置しておくことにより、種子が自然に散布されるように

することが、特に重要です。今年、広瀬でも、種を散布したあとの枯れた株が見つかり、その場所に花をたくさんつけた立派なササユリが生えていました。ササユリの保護のために、どうかご協力をお願いします。

ホタルの調査では、広瀬の八柱神社横の谷川や、大池から榊田川までのそれぞれ谷川に数匹ずつ、大池の堤の下の溝ではゲンジボタルを三〇匹くらい確認しました。この溝には、ゲンジボタルの餌となるカワニナもたくさん生息しており、その場所でヘイケボタルも一〇匹以上確認できました。広瀬でのヘイケボタルの確認は、今回が初めてです。下茅原では、保育園近くの六呂木川、茅原神社の前でゲンジボタルが見られました。また茅原神社近くの田の溝には、ヘイケボタルがたくさん光っていました。上茅原でも六呂木川や、川に流れ込む谷川でゲンジボタルを多数確認、ヘイケボ

タルも見られました。ゲンジボタルは大きいのに対し、ヘイケボタルはかなり小さく、ゲンジの胸部の模様は黒い十字に、ヘイケは黒く太い筋になっています。



河川の環境に関わる活動は、教育文化部会と合同で、川遊び体験に生き物調査をプラスした形で、八月九日(日)に実施することを計画しています。

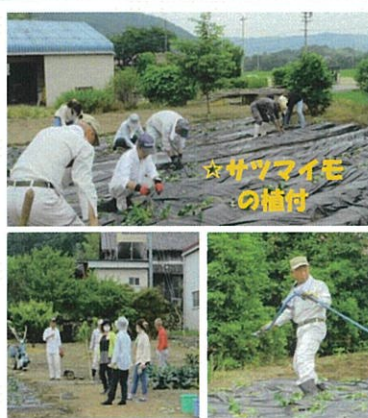
また、榊田川と六呂木川の水質調査について、昨年度は冬に実施しましたが、今年度は夏に調査する予定です。

花いっぱい運動では、夏から秋にかけて咲くニチニチソウを七月一九日にプランターに植え付ける予定です。また冬から春にかけて咲くパンジーは一二月一三日に植え付ける予定です。各地区のバス停などにプランターを置きますので、水やり等のご協力をお願いします。

地域振興部会

茅広江地区三大行事の一つである「ふれあい祭り」は、十一月開催予定です。地域の皆様方のご協力をよろしくお願いします。

サツマイモ作りは、茅広江のPR事業でもあり、六月に植え付けを行いました。畑の借用やトラクターによる耕耘、管理機借用による畝たて等、皆様のご協力をいただき、植え付けが出来ました。



猪・猿の獣害を避け、安全と思われる畑を借用でき、二年目になります。予定通り収穫できれば、「つばな保育園児」の収穫体験や、ふれあい祭りでの焼き芋の販売に活用できると思います。保育園

から畑が近い事もあり、沢山の園児が参加できれば幸いです。

他の活動として、広報誌の発行・園芸教室・夏祭り協賛事業等が有りますので、ご協力をよろしくお願いします。

教育文化部会

部会は、趣味クラブの代表、

小中学校の保護者の方、各地区より選出された委員の皆様と活動しています。今年度は五つの趣味クラブ、短歌教室、小筆教室、読書会、写真教室、ちひろえレストランが活動しています。いつでも入会できますので、是非お話し参加をしてみてもいいでしょうか。

今年度の主な行事は、二年連続で実施できなかった川遊びアンド生き物調査を、少し実施時期を遅らせて八月九日に環境・安全防災部会と合同で計画しています。

また、親睦も兼ねてみなさんが楽しみにしている社会

見学は、バスを利用するという事でコロナ対策として、時期を遅らせて九月十六日に予定しています。

地域の保育園、つばな保育園との交流もコロナの関係で十一月の一回実施に変更させていただきました。ふれあいまつりに出す作品づくりに園児と一緒に取り組みたいと思います。

その他、八月には子ども料理教室、十月にはものづくり教室、十一月好評の相可高校料理教室、十二月には映画鑑賞会、一月には教養講座、二月には音楽鑑賞会を予定しています。たくさんの方々のご参加を心よりお待ちしております。





◎アカマツ
マツ科の常緑針葉樹。花期4-5月、明るい場所を好む。クロマツに対し葉がやや細く柔かい。成長すると樹皮が鱗状に剥がれ薄く赤ぼくなる。効用：筋肉痛、打撲。低血圧等。



◎アオキ ガリア科の常緑低木。花期3-5月、日の差し込む山地や雑木林などでよく見られる。花は褐色を帯びた紫色で、枝先の円錐花序に小花をつける。効用：腫物、やけど、切り傷、おでき等の保護、消炎・・・



◎イノコヅチ ヒユ科の多年草。花期8-9月、日のあまり当たらない場所に生える。細長い穂状花序をだして地味な緑色の小花をつける。効用：根は漢方薬に、利尿、強精・・・。民間療法では生理痛や関節痛に。



◎オオバコ オオバコ科の多年草。花期4-9月、高地から平地まで、道端などによく生える。棒のような細長い花茎を出し、白もしくは、紫色の小花が咲く。若い芽は食用になる。効用：葉や種子は咳止め等の薬用に。



◎オトギリソウ オトギリソウ科の多年性植物。花期7-9月、日当たり良い赤土の道端や草地に自生する。葉は2枚ずつ対生し茎を抱く。花は日中だけ咲き1日で終わる。効用：止血等の民間薬、口内炎、歯痛に。



◎キランソウ シソ科の多年草。花期3-5月道端などに生える雑草。日当たり排水が良い土地を好む。茎の先端近く、葉の付け根に濃紫色の小花を数個つける。効用：高血圧、鎮咳、解熱、下痢止め、切り傷・・・等。



◎ツユクサ ツユクサ科一年生植物。花期6-9月、畑の隅や道端で見ることの多い雑草。青い花をつける。花弁は3枚あり、2枚は青く大きい。早朝咲いた花は午後にしぼむ。効用：下痢止め、解熱・・・等。



◎ヘクソカズラ アカネ科のつる性の多年草。花期7-9月、日当たりの良いやぶや道端などに自生。果実は6mmほどの球形で強い臭気がある。効用：しもやけ、あかぎれ、ひび等外用民間薬。腎臓病、脚気・・・等。



◎クリ ブナ科の落葉性高木。花期5-6月、日当たりの良い丘陵地に自生。現在は殆どが栽培。花は穂状で個々の花は小さい。効用：食欲不振、下痢等。毒虫さされ、ただれ、湿疹・・・。



◎ヤブカラシ ブドウ科多年草。花期6-8月、道端や荒地等に生える。市街地では公園のフェンスなどによく絡まっている。花は薄緑色の花弁。駆除が困難な草である。効用：根は利尿、解毒、鎮痛等に薬効がある。



◎イノバラ バラ科落葉性のつる性低木。花期4-6月、ノバラの代表的な種。山野に多く自生する。鋭いとげがある。枝の端に白色の花を房状に多数つける。香水の原料になる。効用：おでき、にきび、腫物に効果。



◎ユキノシタ ユキノシタ科多年草。花期5-7月、山地の湿った場所に生育する。初夏に下2枚の花びらだけが大きい白い5弁花を咲かせる。効用：体のむくみ、胃もたれ、下痢。しもやけ、火傷、虫刺され・・・等。